



浜松観光ボランティアガイドの会

## 新年の御挨拶



## お客さまに「浜松の魅力」を伝えていきましょう！

浜松観光ボランティアガイドの会 会長 大見美保子（西ブロック）

明けましておめでとうございます。会員の皆さまには穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃より4拠点でのガイド活動をはじめ、各行事や会の運営に多大なる貢献を頂き誠にありがとうございます。

さて、昨年は大河ドラマ「どうする家康」の終了に伴い浜松城や犀ヶ崖資料館などへの来場者は減りましたが、その分お客さまには丁寧に接することができたことと思います。事業部主催の行事では、天候不順による中止もありましたが、夏休み子供講座などは無事実施することができました。そして、研修部主催の座学研修は多くの皆さまにご好評を頂きました。

また、例年にない猛暑の中でも事故もなく無事に夏を乗り切れましたことは皆さまのご協力のお陰と感謝いたしております。長く続いたコロナ禍も一段落して、各ブロックでは積極的にミニ研修が行われ、会全体でのバス研修も5年振りに実施いたしました。

今年も27期生の「新人養成講座」を皮切りに「富士山の日記念ウォーク」など、各専門部を中心に色々な行事が計画されております。皆さまのご参加をお待ちしております。

当会の最大の特徴は、20代から90代までの幅広い年齢層の会員で構成され、会員が様々な知識とスキルを持っているという事ではないでしょうか。その豊富な知識とスキルを個々のガイド活動に生かすとともに、会の運営にも生かしていただけるようご協力をお願いいたします。

最後となりましたが、今年も健康に留意し、研鑽を積み、みんなで協力しあって、お客さまに浜松の魅力を伝えていきましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 今年は「蛇年」天狗ちゃんを知ってる？

12月末、浜松を拠点に活動している張り子作家「遠州天狗屋」坂田さんが主催した6回目のイベント「新春てんぐちゃん屋」に行ってきました。



へびの張り子

毎年「遠州ならではの干支と天狗」をテーマに、張り子を中心とした様々な作品を展示しています。今年の干支は、「へび」ということで、浜名湖の昔話「金色の蛇」が題材です。農夫が暑さから助けた小さな金色の蛇、実は「亀が淵の主」、祀ることで

「福を授けてくれた」というお話。新居町中之郷の二ノ宮神社に「短蛇大明神」として祀られているとのこと。遠州の民芸を見ながら昔話に触れてみるのも楽しいですね。

広報部 久保田絢子（中ブロック）

## 「富士山の日記念ウォーク」開催

浜松観光ボランティアガイドの会  
富士山の日記念ウォーク

もっと知ろうよはままつ！  
ボランティアガイドと一緒に

2月23日  
富士山の日

『いかにか 佐鳴湖！』ぐるりと一周 ぶらりと散策

水七瀬のオアシス  
魅力発信 見えるかな？ 富士山、河津桜、カワセミ、ミサゴ（野鳥の観察）

回廊 伊能忠政碑、佐鳴八景歌碑、小艇船着き場、浜松城ゆかりの(現金石)  
その他。。。はままつ案内人がガイド説明し歩いて回る(約8.5~9kmコースです！)

日時 2月23日(日) 祝日 予備日 2月24日(月) 振替休日 参加費無料  
9:00~12:00 ※(朝8~9:00)の 9:00から10:00まで先着順で受付開始いたします。  
※お昼食、飲み物、お弁当、傘、飲料水、歩きやすい服装を各自の責任でお持ちください。

注意事項 富塚花見台駐車場 ※(駐車場に限りがあります。公共交通機関をご利用下さい。)  
(※先着順で受付1日4団体)

定員 60名 ※事前申込み(定員を超えた場合は抽選)

申込期限 ~2/13日(木) ※必着

申込方法 下記 (1)往復はがき (2)インターネット

(1)往復はがき 郵送の場合  
宛先 〒432-8014 浜松市中央区産谷町25-10 犀ヶ崖資料館 気付  
浜松観光ボランティアガイドの会 行

(2)インターネットの場合  
①アドレス <https://forms.gle/gKauJ9c5QypTuASM6>  
②右のQRコード(参加申込みフォーム)から直接申込ができます。  
③共通項目  
2/23ウォーク・下・住所・氏名・電話番号・この行事をどのように知りましたか  
※ 2月19日(日)までに抽選の結果を連絡します。 参加申込みフォーム

お問い合わせ先  
TEL 053-456-1303  
メールアドレス mail@hama-svg.jp  
http://www.hama-svg.jp  
hp 浜松観光ボランティアガイドの会  
主催 はままつ案内人 協賛  
共催 静岡県・浜松市

## 26 期生フォローアップ研修&懇談会

11月30日(土)、空高く快晴だが風が肌を刺す寒い日に、今年度入会の26期生12名の皆さんの最後の新人研修と懇談会が行われました。

研修では6人ずつ大見会長、小池副会長の2班に分かれて大手門跡を9時に出発。説明を聞き、配布された資料を見ながら浜松城の南の寺社史跡を徒歩で巡りました。講師の二人からは「浜松城からだ『中央朝日』の看板が見えるところ付近が大手門跡だと説明できるよ」「真偽定かでないエピソードは、否定せず濁して説明するといいよ」など、実際に役に立つアドバイスも随所に混ぜながら詳しく説明がありました。



熱心に説明を聞く26期生

新会員の皆さんは説明に聞き入り、忙しくメモを取って、研修に励みました。

最後は西番所跡を見て現地研修は終了、浜松市福祉交流センターへ移動し、懇談会が行われました。懇談会では、事務局の皆さんが用意したお茶とお菓子を食べながら、新入会員一人ひとりが自己紹介と今日

までのガイド活動の感想等の発表を行いました。新人の皆さんからは「今日の講師の説明のレベルの高さに驚いた」「これからもっと勉強して頑張りたい」「お客さまからお礼を言われるとうれしい」「犀ヶ崖資料館にもっとお客さんに来てほしい」などの発言がありました。



福祉交流センターでの懇談会

役員からは「他ブロックの人と交流できるように積極的にミニ研修や専門部活動に参加して」「会報へぜひ寄稿を」「昨年、一昨年に比べると今年の新人の皆さんは大人しい」などの講評・アドバイスがありました。自当会のガイドになった思いはそれぞれなのですが、謙虚でまじめで研究熱心な26期生の皆さんの今後の活躍をとにかく期待しています！

今後ともよろしくお願ひします。

広報部 都築厚好(北ブロック)

## 5年ぶりの研修日帰りバスの旅「武田流築城城跡を巡る」

12月11日(水)、浜松観光ボランティアガイドの会の研修旅行があり、総勢71名でバス二台に分乗、2025年大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺(つたじゅうえいがのゆめばなし)～」の重要な役どころ田沼意次ゆかりの地である相良を巡りました。

車内で相良城の説明を聞いている間に平田寺(へいでんじ)に到着。国宝「聖武天皇勅書」を保有する立派な寺院で、2024年の王位戦第6局会場に予定されていたところ。戦国時代に焼失した本堂を田沼意次が再建したことから田沼家位牌が並んでいます。賄賂政治家のイメージが強い田沼意次ですが、近年、改革者として取り上げられることが多くなりました。貨幣を統一して利便性を向上させ、商業を重視し幕府の財政を立て直しました。特に相良藩では街道や港を整備し殖産興業政策を行い、藩政を安定させた「名君」でした。相良城本丸跡に建てられた資料館では、来年の大河ドラマ館の準備が進められており、平田寺のご住職のお話からも、大河ドラマへの熱い想いが伝わってきました。

バスは田沼街道を通り焼津さかなセンターへ、マグロ・カツオ・サクラエビ・カニ等の昼食。

お土産袋を用意していた人もいたのですが、ここからは日没との闘い、売店の前を急いで通りバスに乗車しました。

午後からは武田流築城城址の見学。藤枝市の田中城は珍しい円郭式城郭で、武田流丸馬出が6カ所もあります。「私は5回も下見に来たよ」と話す研修部の方々に感謝しながら堀や土塁を歩きました。



田中城での集合写真

島田市金谷の諏訪原城では「以前来た時は、森を抜けたところに畑があるだけだった」と話す人が何人かいて、私も40年前に来た時「これ、城跡?」と思ってしまいましたが、木が伐採され三日月堀や重ね馬出をはっきりと確認できるようになっていました。ビジターセンターもできて壮大な山城に感動でした。全員の協力で予定より少し早めに帰路に着くことができ、充実した1日研修旅行になりました。

広報部 高羽百代(北ブロック)

## 西ブロックミニ研修 久野城址・十九首塚・掛川城を巡る

11月24日(日)、西ブロック15名と他ブロック2名計17名が車5台に分乗し、久野城址に集合。

久野城は可睡齋から南東に約1.5km、第一東名のすぐ北側。今川方の久野宗隆により1490年代に築かれた平山城。比高34mを北の丸から登り、雑木がほどよく刈られた横堀、土塁を確認しながら本丸を目指す。本丸からは溜池や蓮根畑が見られ、城周辺が水堀であったことを想起させます。

午後、十九首(じゅうくしよ)塚を見学。天慶3年(940)、平将門以下19名は藤原秀郷により討ち取られ、その首級を京都に運ぶ途中、この地で京都の勅使により首実検が行われ、その後、十九首塚としてここに手厚く葬られたという伝承が残る由緒ある土地。

次に掛川古城と掛川城へ。古城は比高26mの平山城、二の丸から遠く見られるはずの富士山は確認できず。二の丸の西側には堀切、さらに西には本城曲輪があります。本城曲輪は徳川家光を祀る龍華院がありますが、霊廟の傷みが酷く残念。いよいよ掛川城二の丸御殿と天守閣。御殿は江戸時

代後期の書院造の建物で、7棟20部屋を有する豪華かつ貴重なもの。天守は、1994年に木造復元天守として建造。本丸から天守丸への登城路は急峻で、さらに天守の中の階段も急で難儀。身体を使う分、城本来の意味を見出す上で貴重な体験となりました。

このように他城を巡り、浜松城に新たな視点が入り込めるというガイドコメントに納得。高低差大で一万歩超え、知識を深めるだけでなく、心身ともにリフレッシュできた一日となりました。

広報部 長田勝久(西ブロック)



掛川城を背景に

## 南ブロックミニ研修 豊橋で路面電車を楽しみながら



快晴の12月4日(水)、総勢25人(他ブロックの参加者10人)が各自東海道線沿いの都合の良い駅より三々五々同じ列車に乗り合わせて豊橋へ出発。豊橋駅からは、路面電車で吉田城へ。初めて路面電車を体験する方も多く、写真を撮りまくる人や、料金の払い方に戸惑う人も。路面電車が交差点を通過するとき黄色の矢印に従って曲がることを知り感心しきりでした。

吉田城では、ボランティアから地元ならではの詳しい説明を受けました。吉田城は豊川に臨む水

うです。本丸御殿とは別に藩主や側室らの居所である二の丸御殿がありました。

興味深かったのは、石垣に刻印のある石があること。これは、大坂夏の陣の勝利により天下普請中の名古屋城の資材が吉田城の石垣に流用されたためだそうです。

午後からは、浜松が誇る建築家中村與資平の設計により、昭和6年(1931)竣工された豊橋市公会堂へ。精悍な鷲の像を四方に配す巨大な塔が左右にそびえ、広い石段上の五連のアーチの正面入り口の勇壮さに圧倒されました。常は見学できない昭和天皇の休息された応接室や塔の内部も見学させていただきました。元の状態を尊重した耐震化や修復がされていることに文化財を大切にしている豊橋市の姿勢を感じました。

最後は「鬼祭」(国指定重要無形文化財)で有名な安久美神戸神社。浜松の五社神社でも神職を勤めていた神主さんが説明してくださいました。今川氏の保護を受けただけでなく、江戸時代を通じ吉田城内の神社として歴代城主の崇敬を集めていたそうです。神社の歴史や徳川家康も鑑賞したという鬼祭の「からかい神事」が、現在も豊橋市民に親しまれていることが分かりました。

帰りの電車に乗った参加者からは、一様に「充実した一日だったね」と満足した声が聞かれました。

広報部 馬淵 豊(南ブロック)



親睦が深まった豊橋での研修

利の良い立地。御城米が直接陸揚げされたり、藩主も舟に乗って出かけたこと。原型となる城の縄張り、姫路城を建設した池田輝政。天守に相当する三階建ての4つの櫓で守られた本丸には、将軍専用の宿泊所である御殿があったそ

## 会員の交流広場

## 館山寺ランタンプロジェクト

館山寺門前広場で開催されている「館山寺ランタンプロジェクト」をご存知ですか？

毎週金曜日の20時から22時まで行われている誰でも参加できるイベントです。最初に来た人がキャンプなどで使われるフェアハンドランタンに火を灯して並べ、最後までいた人がそれらのランタンを片付けて帰ります。



幻想的なハンドランタンの灯

そこには写真を撮る人、コーヒーを提供してくれる人、花を売る人もいます。また、整体師さんがマッサージをしたりしています。

ときには近所のお店の方がお菓子を差し入れてくれたりすることもあります。犬の散歩に来た近所の人や観光で館山寺を訪れた方も一緒に暖かい灯りに囲まれた空間の中で静かな時間を過ごします。

私が初めて参加したのは、浜松市が凧揚げで盛り上がっていた2024年5月3日でした。その後、何回かこのイベントに参加するようになって、なぜランタンなのかを知ることができました。

この一番の目的は「防災について考える」ことです。ランタンの燃料である灯油は、安価で備蓄しやすく、災害時には灯りとしてだけではなく、様々な用途で必要になります。個人の備蓄が増えることで配給が必要な人に回すこともできます。

館山寺ランタンプロジェクトのイベントは他のお祭りやマルシェなどにも出張して行われています。12月23日から25日まで3日間行われた浜松フラワーパークのクリスマスイベントにも参加しました。本プロジェクト実行委員会代表の太田さんは「暖かな灯りを楽しみながら防災について考えるきっかけになれば」と話されていました。

機会があれば、皆さんもぜひ一度金曜日の夜に館山寺に足を運んでみてはいかがでしょうか。

中ブロック 久保田絢子



ランタンに囲まれて

## 12月のガイド活動 《明く楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

### 《浜松城》

1日 日	クラブツーリズム	40名
	阪急交通社	30名
3日 火	松任農業振興協議会	18名
	阪急交通社	32名
4日 水	T-LIFE パートナーズ	3名
7日 土	クラブツーリズム	23名
10日 火	みよし商工会役員研修会	40名
14日 土	阪急交通社	6名
	静岡山岡鉄舟会	16名

### 《浜松まつり会館》

実績なし

### 《犀ヶ崖資料館》

実績なし

### 《同行ガイド》

7日 月	本多様（岡崎市）	4名
19日 木	名古屋市鯉城学園史跡散策クラブ	30名

### 《ふるさと講座》

16日 月	南部協働センター	32名
-------	----------	-----

## はままつ案内人会報 270号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
〒430-0946 浜松市中央区元城町100-2（浜松城内）  
TEL 053-456-1303  
メールアドレス [mail@hama-svg.jp](mailto:mail@hama-svg.jp)  
ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

はままつ案内人

検索



家康公ゆかりの地